

3月15日1980・No. 25

# 京橋の印刷

発行所  
 東京都印刷工業組合  
 京橋支部  
 〒104 東京都中央区新富1-16-8  
 日本印刷会館3F 電話 552-1855  
 印刷所 八千代印刷株式会社



一石橋・迷子のしらせ石標 日本橋川が外堀と分かれるところにかかっている一石ばしは、北に金座の後藤家、南に呉服商後藤家があるの、五斗(後藤)両方をあわせて一石になるから、これが通説で、この説を排し、ここでは幕府が通用禁止の永楽銭一貫と米一石とを交換したことに由来するともいわれている。江戸時代も後半に、この辺から日本橋にかけてが盛り場で、迷い子が多く町内が責任をもって保護することになっていった。この石標は安政四年に建立されたもので、橋の南詰西側にあり石標の正面には「満よひ子の志るべ」右側に「志らす方」左側には「たつぬる方」と彫り、左右とも上部に窪みがある。こ

こに尋ねる人や迷い子の特徴を書いた紙を貼り、それを見た人の中で心当りを書いて貼紙をして知らせたという、いわば庶民の告知板であった。背面には八安政四丁巳二月 御願 濟建之 西河岸町Vと彫ってある。これは安政二年九月西河岸町(八重洲一丁目北部)の家主一七人の総代重兵衛など三名が願い出たもので、その頃この堀で水遊びして溺死するものがあつたので、堀の中に注意の杭を建ると水遊びがやんだので、さらに陰徳を積もうと、湯島天神の迷子しらせ石になつたものである。このほかに浅草寺境内にも迷い子石があつたという。

## 目次

巻頭一言 小宮山支部長……………	1
△座談会△八〇年代への新しい発想…2	
組合学校の 第五回ドルッパ展・他	
伊坂 一夫…9	
水野コレクション・シリーズ(8)	
印刷文化の流れに沿って……………	12
組合役員の任期二年を顧みて	
各地区長……………	14
支部の動き・工団連工業事業主・	
工業優良従業員表彰終る・編集後記…	16

## 巻頭一言

暖冬とはいえ冬の営みはきびしい。今年に八〇年代の初冬の故もあつて経済環境の見通しは暗く、人々の心にも冬の寒さがひとしお凍みる。そんな感情も春の訪れと共に拭い去る。季節とは不思議なものである。三月は自然環境の変化からも、古式豊かな行事の中からも日一日と人の心にも温もりを与え、諸事万般にわたって安らぎが漂う。困も多くの企業も歴年度をとらずこの三月を今年度末とし、事を納むると同時に事を始める準備の月としたのも日本の季節にあわせた人の伝統の中から培われた知恵であろう。

執行部も交替の時期を迎え感無量でございます。色々と有難度うございました。

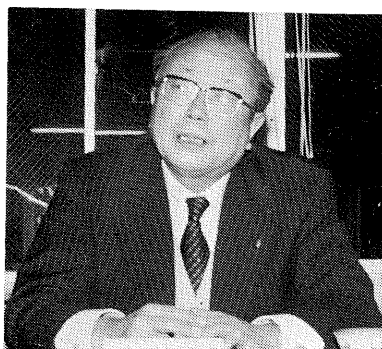
# 小宮山支部長を囲んで

## 座談会

# 80年代への新しい発想

## 京橋支部印刷人青年会・正副会長

ニューパワーの誕生から  
早や一年順調に発展



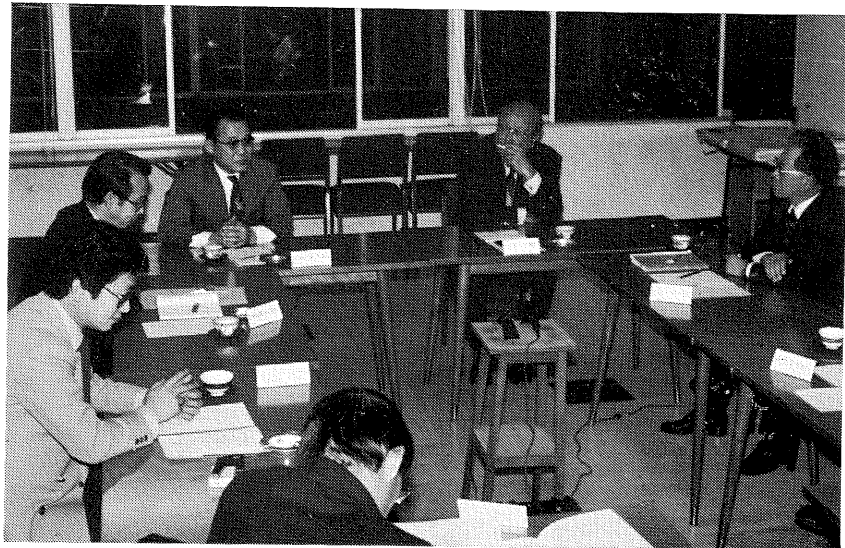
京青会は心強いと語る小宮山支部長

長島 今日私は私ども支部執行部に対して、京青会を代表して忌憚のないお話しを伺っていただきたいと思えます。  
奇しくも今日は、支部に青年会を発足させるという前執行部の課題を受けて、第一回の準備会を開いたのが、昨年の三月八日ですからそれから満一年を迎えたこととなります。生みの苦しみを重ねながらも京橋支部印刷人青年会(略称・京青会)は、昨年六月八日に正式に発会式を挙げて、力強く一歩を踏み出し基礎を築いて来たわけです。  
現支部執行部は、この四月に改選となりますが、支部としては京青会と共に手をとり合って今後とも進むことになっていきますのでよろしく願います。  
ではまず始めに小宮山支部長からお話をいただきたいと思えます。

小宮山 昨年の三月八日にお集りいただいてからちょうど一年目にこの座談会を開催したわけですが、京青会が順調に運営されていることを知りまして大変喜んでおります。

八〇年代は世代交替の時代だけに支部としても新しい思想と行動力をもつ京青会があるのは心強いことです。支部は今年役員の改選に当りますが、京青会は引続いてもう一期、現役員の方々ががんばっていくということ聞いており感銘しています。

私どもは京橋支部の組合員という原点にたつて考えた場合、常に支部の動きに関心をもちいろいろな事業に参画すべきだと思っております。そういった意味で若い二世会ともいえるべき組織である京青会は、支部にとっても将来大切な集りであると思っております。今日は共ども支部運営のあり方や各事業所の将来について話合えれば幸いです。

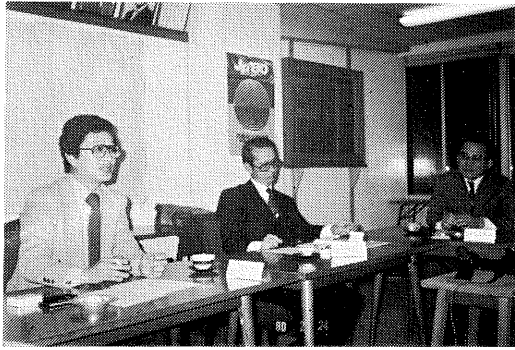


小宮山支部長(右から二人目)を囲んで左へ尾島京青会会長、榎本、岸副会長、長島副支部長、右端は石曾根副支部長

長島 京青会の発足当初に支部との関係はどうなるのか、話題となりましたが、この一年間をふり返って見ていかげした。

各地区会でも話題になった  
千葉印刷団地見学会

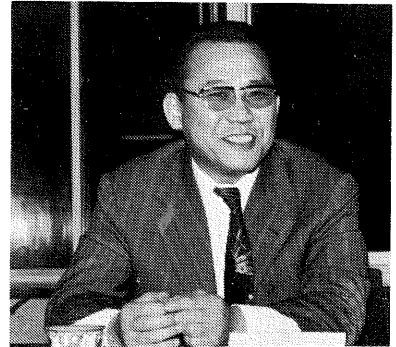
尾島 京青会が発足してからお陰さまで



組織体制固めが先決と語る岸副会長 (左端)

八カ月がたちました。この間すでに六回の研修会と工場見学などを開催、それなりの成果を挙げてきたと思っています。ご質問の支部と私ども京青会の関係については、確かに話題となり論議となったところがあります。もともと私どもの京青会は支部の下部組織ではなく独自性といえますか、主体性をもって運営していきたいというのが大方の意見でもあったわけです。

京青会はお互いに知り合い、協力していくといえますか、対等の立場で話合っていくというのを大前提とした組織であるということですか。発足してから八カ月たちましたが、支部からの恩恵も十分感じていますし、独自の運営にしてもあえて一線を画することもないので、お手伝



京青会の独自性を強調する尾島会長

いできるものは積極的にお手伝いして行こうと思っています。京青会は今後も主体性をもった運営をやっていきたいと考えています。

石曾根 研修会や工場見学会などの催しについても支部と共催で実施してもらい大変良かったですね。例えば税務研修会などにしても京青会と支部が一体となって開催したことで効果を一段と上げることができたと思っています。

長島 今後京青会からもどしどし意見を出してもらい、支部と京青会の提携を更に深めていったら大変良いと思っています。

### 主体性をもちながら 支部との協調を

石曾根 京青会で千葉の印刷工場団地見学会を催されましたが大変好評でしたね。

岸 私どもの京青会は発足以来わずかに八カ月でありまして、どちらかといえますとまだよちよち歩きの段階であります。従って現在はまだ結束することを大前提としております。只今、研修会や工場見学会などで支部との協調体制が非常に良かったというお話をいただきましたが、そういう意味ではまだ発足後日も浅いので十分な協力もできなかったと考えています。基本的にはまず京青会の組織体制をがっちり整えたいと考えています。

長島 千葉の印刷工場団地見学会などは非常に有意義な催しであり、すばらしい企画であったと思っています。

榎本 この見学会は計画立案の段階ではあまり良い企画とは思ってなかったが、実際に実施してみたところ大変参考になったということでも好評を得まして喜んでいます。

石曾根 私も参加させていただきましたが、公害防止、騒音規制が厳しい中であるような協同組合形態の工場団地を見学したことは非常に参考となりました。地元中央区でも協同組合形態の工場団地化にはきわめて高い関心をもっていられるようです。

長島 月島地区では関心が高まったとのことですが、その他の地区の会合でも色々話題になったときいております。

榎本 見学会の帰りのバスの中で話しがてましましたが、参加した人が集まって討

#### 一出席者一

京橋支部長	小宮山 敬之	小宮山印刷(株)・社長
京青会会長	尾島 賢一郎	三徳印刷(株)・専務
京青会副会長	榎本 則義	(株)榎本印刷所・専務
京青会副会長	岸 健作	(有)岸印刷所・専務
京橋副支部長	石曾根 啓悦	八千代印刷(株)・社長
司 会	長 島 伸行	京橋副支部長 (株)長島印刷所・社長

論会でも開催したら良かったと思っています。  
長島 京青会の活動は目に見えないところでも多くの組合員にインパクトを与えています。

### 京青会は当番が立案

#### 全員で運営、経営訓練

榎本 京青会はお互いに知り合い、そこから協力していくことがまず第一歩となります。こうした観点から現在十三人います幹事が何か催しや行事をやるような場合、二人が一緒となって、いっさいを

尾島 毎月二人の担当幹事がいっさいの責任をもってプランを練り、そして実行していくことに、京青会が若い者の集まりでありますだけに今後の自信につながると思っっています。先ほどの工場見学会にしましても結果は別としても、一つの結末の具体化であって、これによって自信を得たと受けています。

岸 二人の月幹事が担当して事業をやっていますので、いろいろと意見や批判もです。そこで他の幹事もこの次の自分の担当のとき何をやるうかと一生懸命考

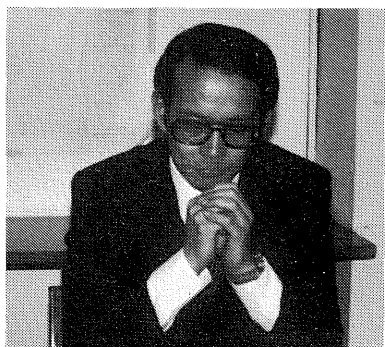


巧みに座談会を進行する司会の長島副支部長(右端)

えますから、考えなども幅広く広がります。これは大変なメリットだと思っます。

小宮山 大変結構なことですね。発想の転換を企業それぞれに生かす前に支部の運営で何かお感じになったこともあると思っます。東京には約三、〇〇〇社の組合員がおりまして、そのうち京橋支部が三〇〇人で約一割を占めています。この三〇〇社の中で支部への参画意識をどの程度もたれているかといっますと、はなはだ心もとないが、ごく少数というのが現況でして、私も執行部も支部組合員一人ひとりの参画意識をどうして高めたらよいかと苦勞している状態です。

この点京青会では、月幹事を決め、企画をたて、それを実行されているとお聞きしまして私どもは教えられたという感じがします。支部でもひとつ参考にして行きたいと思っっています。



制約のないうちに独自にと榎本副会長

榎本 支部の実情あるいは動きについては私どもも十分理解はしております。京青会はその点支部とは違いますが、いずれにしても制約がないうちに、いろんなことを独自性にもとづいてやっていくことが将来生かされるだろうと思っっています。

尾島 組合員はお互いに何十年もつきあっておられ、仲も大変良く、喫茶店などでよく世間話をされるが、それはあくまでも大人のつきあいであってサイフの中味までは見せないというお話をよくお聞きします。ところが京青会のメンバーは

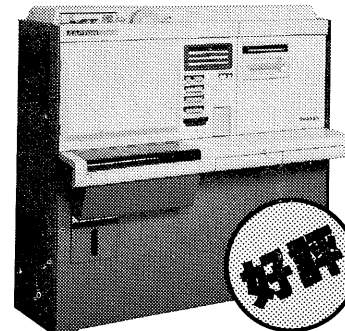


京青会との立場をと…石曾根副支部長

石曾根 京青会は創立の主旨あるいはその目的といっますか、基本理論がしっかりとっていますこともあって自主性を打ち出して行けるのだと思っます。その点支部は本部との関係などもあって余り一方的な独走はできにくいところもありま

# 各地で続々導入中!! SAPTON®-Somanechi

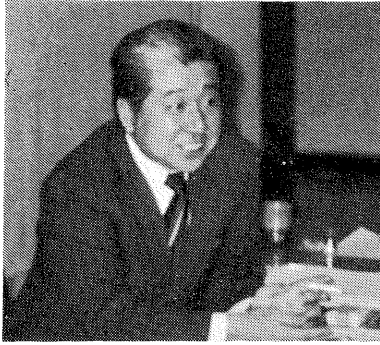
電算写植機サブトソマネチが今、「経営の合理化と売り上げアップ」の旗手として絶大な人気を博しています。「多種少量の組版でも採算がとれる」ことから、東京をはじめ各地の大手・中小印刷会社・軽印刷会社でも続々導入中! 「電算写植を入れても……」の不安を解消しました。



好評

株式会社  
写研

東京都豊島区南大塚2-26-13 電話(03)922-2211 ●札幌・仙台・金沢・静岡・名古屋・大阪・広島・福岡



京青会は若い人の訓練の場に

小宮山 昔の話ということになると私も若いので困るが。初めは仲間意識から和が広がって印刷組合ができたことはまちがいない。そして連合体となり、行政

ざつくばらんと助け合い

組合運動の根本は

長島 昔の印刷組合は親しく、仲が良いという、いわゆる親睦的な色彩が強かったのは事実です。しかし現況は仮りに一つの方向を打ち出すにしても企業意識や企業規模が問題となつて必ずそこにプラスマイナスが起きてきますね。

若いということもあるでしょうが、情報を交換しながら、づけつけとものをいうムードがあります。今後支部のムードがどのように変わっていくか、わかりませんが、私どもは社会の流れの中で、氷が解たらただの水になるのではなく、そこに春のムードがでるようになれば良いと思っています。



よい意味での競争があるので...

と接触同調していくようになった。従つて組合運動の根本はざつくばらんに話合つて助け合うことにありますが、どうも地区では話せるが支部や本部に出ていくとまく話せない、あるいは黙つてしまふ人がいますね。

榎本 京青会はいわば若い人ということを経験の浅い人ばかりでスタートしましたから訓練の場にもなっています。もちろん参加しない人もいますが、加盟してから人と話すことにもなれ、当初はおつきあい出席していたものが、最近では自分から積極的に出て発言の場をつくつていこうという考えが植え付けられてきたようです。そういう意味では幹事になられた人々の意識も高まってきました。長島 京青会は、支部二世のエリート集団となるのではなく、支部全体の若い人々の訓練の場として広がってゆけば、将来の京橋支部の運営の場にも大きな力となつて生かされてくると思うのですが。

八〇年代は

昭和生れが担う時代

石曾根 この八〇年代は多くの企業の中で経営者陣も、明治、大正時代の人から昭和時代への交替期にきています。そうした背景もありまして私ども支部としても将来印刷経営者となられる後継者が立派に育ってもらいたいということで、この京青会はずいとも発足させたかったのであります。

小宮山 組合費を払っているがら無関心でいられる組合員を見ていると、見聞を広げる意味からも積極的な参加を呼びかけたい。確かに組合に入っていることは目に見える速効性は薄いかも知りませんが、長い眼で見ますと必ずプラス面に



和やかに話し合いが続く座談会

泰平紙業株式会社

東京都文京区後楽 2-1-8

(後楽ビル内)

電話東京(815)1651(代)

日本を代表するインキ

TOYO KING  
ULTRA70



東洋インキ



いています。これからはマスプロ時代の反面、少量でも価値ある印刷物もでてくると思いますから、三〇%の稼働で暮していけるような方策がとれたら素晴らしいのですが。

### 印刷業のイメージアップを 寅さんの印刷屋では困る

小宮山 印刷料金は需要供給のバランスの中で左右されます。確かに戦争で大手も凸版印刷を除いて燃けてしまい、ました。そこで凸版印刷板橋工場に戦後は仕事が集まりました。このように仕事量に対し設備がたりないときは三〇%の稼働で十分に暮していくことができます。しかし現状は改めて述べるまでもないと思いますが、設備過剰の状態ですから附加值の高いものをやらざるを得なくなってきました。

それから印刷といいますが、一般の人からは昭和初期の暗いイメージを現在でももたれています。現在業界が取組む準備を進めています。第二構改計画の中で、工場から店舗化を打ち出しているのもこうした業界のイメージチェンジであって、ひとつの生き方があります。もちろん今後は高齢者も使って行かねばなりません、それには従来の

経営に固執しては

企業経営は成りたちませんから、経営方針を相当変えて行かねば、高齢者を実戦力に加えていくことは難しくなります。

岸 笑い話ではありません

せんが、業界の実態は最近認識されてきたとはいうものの、まだ印刷のイメージはどうかといえば、寅さんの映画にまだアオリの印刷機が平気で登場しているのです。それでは困るので大いに世間に印刷のイメージを高める努力をしなければいけないと思います。

### 諸資材の高騰は

#### 各企業の努力で料金に

石曾根 このところ用紙、活字・製版フィルムなど関連資材が値上りし、企業環境がきわめて悪化しています。これの対



新聞三大紙にアピールを



印刷業も時代の先どりを

処の方法などについてはどうですか。業界としてはこれらの資材高騰を印刷料金に転嫁するために、それぞれの企業が企業の存亡をかけて印刷料金のアップと取組まねばならないと思います。

岸 チップ、銀、用紙が値上りしますといっても一般新聞紙上などでは、隅の方にごく小さくしか掲載されてません。極論ですが、私どもとしては社会問題となるような大幅な値上りが行なわれた方が逆に料金を上げるには役立つわけです。なまじつ少額のアップでは新聞もとりあげてくれません。そこでエンドユーザーに対し、せめて三大紙を貸切ってこれらの材料費の高騰をアピールするようなことを考えていくべきだと思います。

小宮山 狂乱物価に近い状態となった現在、過当競争を絶滅し適正料金をいただくままとないチャンスでもあります。人件費もここ数年上昇していることでもあり、業界が止むに止まれずとまって印刷料金の改訂へ踏み出すに至ったという

## 業界のトップメーカーで 全国で一番よく使われている！

ハート印 [ 名刺用紙・私製はがき・招待状カード・封筒  
株券用紙・賞状用紙・荷札・のし紙・カレンダー ] 発売元

# ハート株式会社

東京東支店

135 東京都江東区冬木15番10号 電話 東京 (03) 641-1153 代表

本社 540 大阪市東区南農人町2丁目39番地 電話 大阪 (06) 942-2321 番 (大代表)  
支店 札幌・仙台・東京西・東京南・東京北・静岡・名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡



新しい印刷の方向づけが必要です。

ことです。本部でも物価問題対策本部を設置し対策を検討しており、新執行部への移行をまたず近く地下鉄に中吊りポスターを掲示して業界の苦境を訴えることになっていきます。

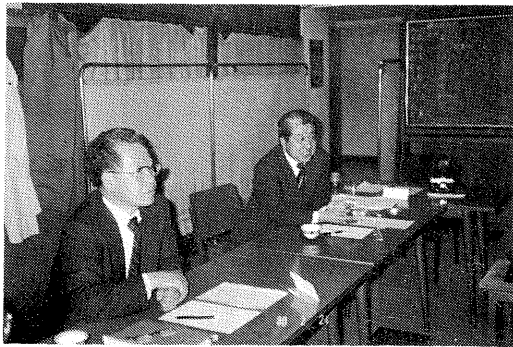
櫻本 このような印刷諸資材の急激な高騰の時期こそ、姿勢を正して適正な印刷料金の改訂をやっていくことが大切です。と同時にユーザーから料金改訂を理解して頂けるようこちらもオリジナリティを持った存在になる努力が必要です。そしてこれらのオリジナリティなノウハウをもつことによって印刷料金の教育をユーザーにしていけることも大切なことです。

石曾根 組合運動にあわせてそれぞれの企業でも印刷料金の改訂運動を盛上げてやっていかねばならないと思います。

一通一〇円という

発想の転換も

尾島 実際のところ全国に三万社ある印



長時間ご協力ありがとうございました。

刷業者がどう纏まっていくかによって成果が大きく左右されます。ところで、印刷料金の改訂に関連したことです。印刷料金は現在でも通し何円、何銭という単価がまかり通っているのが実状であります。きわめて極論

ですが、大きくところによりますと業界全体では今回の資材の値上りで印刷原価は一〇億円ぐらいアップしますから、これからは印刷機を一回転させたら一〇円というような発想の一大転換ぐらいのことも頭の片隅に置きながら今後の経営の指針を見つけてゆくのも案外役に立つかも知

れません。

櫻本 従来はユーザーから受注するときにクリエティブもいっしょに受けていたが、近年はこの間にクリエティブ関係の会社が介入するようになった。これは印刷業者の勉強不足であり、印刷業界が時代を先取りできなかった結果であって、これから長い眼で見た場合頭に入れておかねばならないことでもあります。

小宮山 そのとおりです。印刷機械の多色化、大型化、高速化はインキ、用紙の協力があって実現したものであって私どもはこれらの印刷機械をただ働かすことで利益を生み出したのがこれまでの経過です。これからの八〇年代は、発想の一大転換を行なって企業経営を維持していかなければならない。今後とも若い人の新しい発想にもとづくご意見をどしどし聞かせていただきたい。

長島 本日は支部運営についての希望から将来の展望までについていろいろとご意見を出していただきましてありがとうございます。支部と京青会が今後とも手を携えて繁栄していくよう努力していきたいと思えます。長時間ありがとうございました。

短歌

五〇歳たちまち過ぎてあらたまる年くる毎によろこびも消ゆ  
根仕事終りてなごむ昼休み思いに英気やしなう

写植のことなら何でも...

- 各種写真植字機
- 写真植字文字盤
- オペレーターの養成<写植スクール>
- 版下マンの養成<フィニッシュワークスクール>

株式会社 **モリサワ**

東京支店 東京都新宿区下宮比町15-5 〒162 ☎03-267-1231

四六四截オフセット  
**オリバー 8**  
軽快・高速・重装備  
580×440. 10,000枚/時  
姉妹機：オリバー 6 菊四截  
オリバー 12 菊半截  
**桜井機械販売株式会社**  
〒135 東京都江東区福住 2-2-9  
電話 (03) 643-1131



# 組 合 学 校

(九)

伊 坂 一 夫

大変水らくお休みいたしました、お許  
し下さい。驚馬に鞭ち打って進めませ  
う。さて昭和四十年代に入るに当って、先  
ず本部長さん、京橋支部長・副支  
部長さんの就任年月を思い出して下さい。  
理事長

長宗泰造氏 昭和三九年四月 就任  
新村長次郎氏 昭和四一年四月 〃  
伊坂一夫 昭和四七年四月 〃

京橋支部執行部  
支部長

15 長崎義信氏 昭和三九年四月就任

(副)市川仁作氏 山田光男氏 石澤

幸氏 加瀬文吉氏 堀江太助氏

(監)尾島栄一郎氏 小筆正次郎氏

16 石澤 幸氏 昭和四一年四月就任

(副)森 元雄氏 大竹次郎氏 小林

晃氏 松岡繁夫氏 加瀬文吉氏

(監)市川仁作氏 岸京四郎氏

17 瀬戸昇之助氏 昭和四三年四月就任

(副)森 元雄氏 大竹次郎氏 松岡繁

夫氏 池宮義久氏 戸田末吉氏

岩尾篤一氏

(監)久保田幸一郎氏 滝澤数馬氏

18 荻野義博氏 (第二次) 昭和四五年

四月就任

(副)大竹次郎氏 荒川隆晴氏 羽生通

成氏 児玉正己氏 柴沼四郎氏

(監)滝澤数馬氏 長島伸行氏

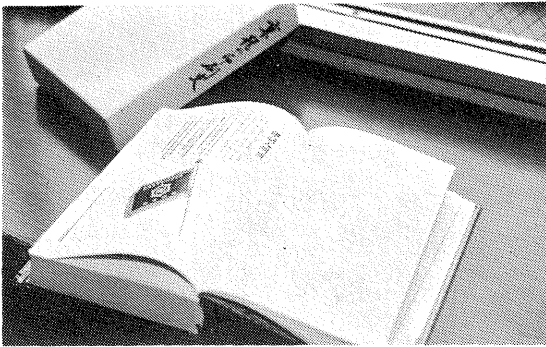
19 荒川隆晴氏 昭和四七年四月

(副)池宮義久氏 小山英美氏 大橋忠

治氏 児玉正己氏 柴沼四郎氏

大澤忠義氏

(監)高橋輝治氏 森永清作氏



日本印刷大観の続編のような京橋の印刷史

「京橋の印刷史」から転載いたしまし  
た。印刷史は当時の役員諸氏に一方なら  
ぬ御骨折を願ったが、本当によい記録を  
残してくれて有難う存じます。吾が業な  
がら印刷の有難さを今更のように感じま  
した。

昭和四十一年

四一年三月二一日、戦後二十年に亘  
る、組合員物故者二九六柱の大慰霊法要  
が音羽護国寺の大本堂で盛大に行われ、  
長宗理事長追悼文を捧ぐ。

京橋支部の追悼を受けた先輩三十六柱  
× × ×

四月一日組合本部役員の改選が行わ  
れ、理事長に新村長次郎氏が選ばれ、千  
代田の中村正男氏、杉並の井上計氏、京  
橋の伊坂一夫の三名、副理事長に任命さ  
れた。

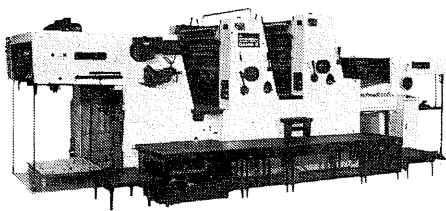
私は三三年四月に東印工組役員改選の  
時、自社復興に専念する為、役員を辞退  
し、まだ復興途上でしたが、元理事長伊  
藤集氏、ヨーロッパ、東南アジアへもお  
伴して同じ釜のパンを食べた事のある、  
新村先輩のお薦めで再度組合学校へ復学  
いたしました。

四月七日京橋支部も総会が開かれ石澤  
幸支部長が五副支部長詮衡され、御就任  
になった。

刷り損じはがき二円で交換

全国運動を続けてきた、刷り損じ葉書  
が四一年七月より二円の手数料で、各郵  
便局で交換される事になった。

決定！ オフ下請なら宏洋社



菊全2色三菱NEW DAIYA II-2N 稼動開始  
中央区湊2-7-2 (有)宏洋社 ☎551-9992

生活にはずみを

無担保・無保証人

文信フリーローン

上手な住居づくりに

文信マイホームローン

文化産業信用組合 | 京橋支店  
東京都中央区八丁堀4-13-1 ☎551-9625(代) ☎104

之は全く井上副理事長の努力と民社党のご協力によるものです。

### 第十五回印刷文化

四一年九月 東京都印刷工業組合、東京印刷工業会共催にて第十五回印刷文化典及全国印刷業者大会開催、銀座松屋文化典会場「暮しの中に生きる印刷」開場式には常陸宮兩殿下御臨席、常陸宮妃殿下開場テープを切られた。

式典は東京宝塚劇場で行われ印刷功労賞を高橋興作先輩が受領され、川村賞及び国際コンクール入賞者表彰、更に経営技術集談会が開かれました。

### 平版印刷機製造機種制限

四一年十一月 全日本印刷製本機械工業会、昭和四二年より自動平版印刷機一社当り三機種以内制限申合せ。

### 印刷セール券八万枚割当

四一年十一月社会に奉仕する印刷組合主催の歳末印刷セール券は百五十万枚発行され、京橋支部に八万枚割当されて、組合員全員挙げて協力、消化しました。

翌四二年一月、一都十県の醸金合計一九三万円也を寄附した。

### 平版料金の低落と

#### 外国機設備

四二年一月 本部の平版印刷委員会よ

印刷と紙の国際的な見本市——ドルツパ展が、西独デュッセルドルフで開かれていた。この見本市には世界中の印刷関係者がどつとつめかける。ことは第五回の開催年にあたり、五月末から七月初めまで開かれているが、前回の盛況ぶりからみて世界各国から約五十万人の関係者が集まるだろうといわれる。

デュッセルドルフには、晴海の五倍近い常設展示場があつて、各国業者自慢の印刷機や印刷製品がずらりと並び、

### 「ドルツパ展とは」

そこへ足を運べば今日の世界の印刷産業の現状が手にとるやうにわかる——という趣向。

この見本市は戦前「印刷都市」として有名なライプチヒで開かれていたが、戦後、ライプチヒが東独に編入されたため、西独政府が「伝統継承」と「印刷技術振興」をめざして開いた。デュッセルドルフは、人口五十万の都市。そこに世界中から五十万人集まる。ホテルは超満員。そこでライン川に水上ホテルが生まれるが、これは隣

国オランダの経営。ドルツパ展でいちばんもうけるのはオランダだろうというエピソードもある。

ドルツパとはドイツ語の印刷(ドルツク)と紙(パピエル)から生まれたことば。外国の印刷関係者の間では「ドルツパ展で会いましょう」というセリフがあるほどに、この見本市はひろく知られている。

日本の業者がドルツパ展に出品するようになったのは前回からだだが、印刷

出版研究所長・山崎正氏によると「日本の印刷機械はまだ二

流」という。「しかし、出品した業者は自社製品の欠点をよく知って、その後改善に努力し、ぐんと業績を伸ばさせた」と山崎氏はこの展覧会の功績を説いている。日本からの出品は前回が三社だったが、今回は十社とふえ、関係者約六百人がドルツパ展につめかけようか。こうした関心の高まりは、そのまま日本の印刷産業の隆盛の示すものといえようか。

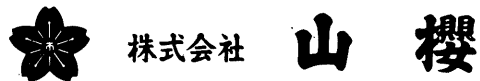
(当時の「新聞の新聞」より転載)

### ドルツパ展視察結団式

りの依頼で、印刷料金及び印刷機増設及び更改の調査があつた。印刷料金は低落を示し、反対に近代化の影響で、外国製印刷機械の増設が特に目立った。

業界が近代化を取入れたのは、欧米印刷界視察から受けた影響は著大なものがあつた。殊にドルツパ展日本公式視察団

## 山 桜 製 品



株式会社

山 桜

本社 東京都中央区築地3-2-9  
電話 542-8511 (大代)  
工場 東京都昭島市大神町1046番地  
支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有  
墨田・蒲田・横浜・千葉・大阪

プロセスインキの最高峰

New Champion

# Super Apex



大日本インキ化学



水野コレクション・シリーズ (8)

印刷文化の流れに沿って



(株) 水野写真工芸印刷所

社長 水野 雅 生

前回はグーテンベルクの活版印刷術発明後、印刷は燎原の火のごとく、全世界に広まって行き、印刷術も時代が進むにつれ活版印刷から、銅版印刷、平版印刷と発展してきた様を書きましたが、今回は時代を戻して木版印刷について述べてみたいと思います。

東洋における木版印刷

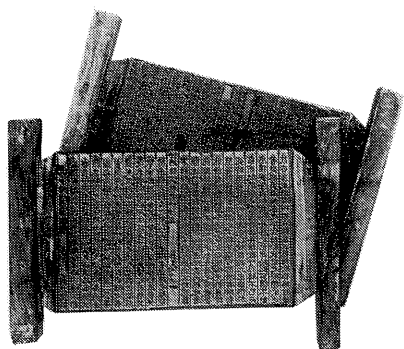
木版印刷の歴史は古く、中国の唐の時代にさかのぼると思われまます。中国の印刷は仏教と共にインドの影響を大きく受



「印仏」 敦煌出土 7世紀頃

けていることはすでに述べましたが、そのインドでは早くから供養のため仏像印を造り、織物に捺印して千体仏を造りました。やがて中国に移入して印章捺印から木版印刷へと過渡を示しています。スタンプ印章では版面の大きさに限りがありますが、このスタンプ印章をひっくり返して、その上に墨をぬり、紙をのせ刷毛でこすることを考えだしました。この手法は版の大きさに関係なく印刷ができ、しかも立派に仕上がることに気がきました。

版木の製作には、ふつう梨もしくは棗を使用し、十分な強度を考慮した厚さの板もしくは木の塊をきれいに平にし、二ページ分の形と寸法の四角形にし、次に表面にはのりをぬりつけて版面を滑らかにし、薄い透明な紙に文字を書き込み、彫師はのりづけがまだ湿っ



明時代 版木 14世紀頃

ているあいだにそれを版木に裏向けにはりつけ、文字は薄紙をとおして裏からすけてみえ、職人は鋭い彫刻刀を使って、墨のついていない版木の部分をけずりとして文字をいくらか高く浮彫りにして版木を作りました。この方法は安上りで手速くできたのです。

石碑からの摺拓、織物の捺印、スタン



和書版木「詩央鑿」 版木13枚52頁 明治8年東京刊 明治の初期にはこのような版木を使用した和書がまだ多く読まれていた。

プ印章など、これらは木版印刷へと導くいくつかのステップでありますが、その木版印刷が始まった正確な年代は神秘に包まれています。ここにある「敦煌」出土の印仏は、A・スタイン卿が発掘し英国へ持ち帰ったものの一部であります。唐時代の木版刷り印仏と思われる

唐朝の末期に外来信仰(仏教も含まれる)に対する迫害政策が始まり、八四五年「会昌の排仏」においては四千六百の仏教寺院が破壊され、二十六万五千人もの僧侶が還俗させられ、唐代の偉大な文化的資料の大部分が失われました。これらのことにより現在では八六八年の「金剛経」(世界最古の書物)より古い中国の印刷物は残っておらず、現存する最古の木版印刷物については日本の「百萬塔陀羅尼」に目を転じなければなりません。こうした木版印刷術を極東においては

印刷発明の始まりと考えられています。が、ヨーロッパにおける活字印刷は、むしろあまり重要でなく後世のつけたしとされています。

我が国における木版印刷は慶長年間(古活字版のあとを受けて、江戸時代に北斎や歌麿などにより、芸術的にも大変高い水準に達しました。これらの版木はす

べて板目木版で、桜材が主に使われております。

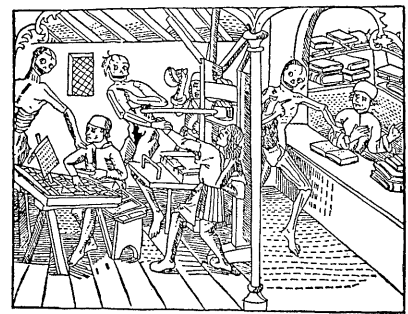
西洋における木版印刷

西洋の木版印刷術は、十二世紀に織物の装飾用に使われていますが、紙の流布とあいまって、それが一枚物の絵を印刷するのに用いられるようになったのは十四世紀末のことであり



乗合馬車ちらし版木「板目木版」 明治初年 1枚2面彫り

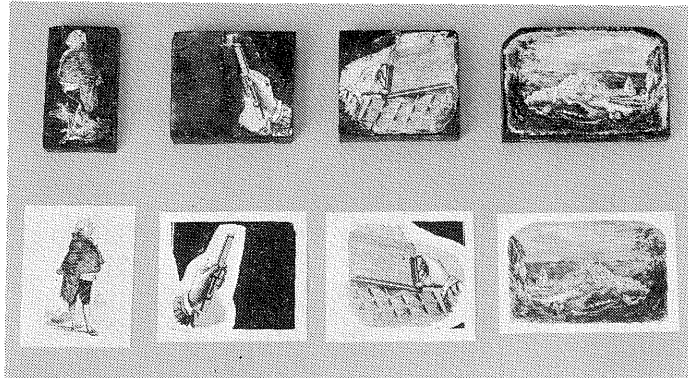
この頃の木版はすべて「板目木版」で板目に合わせて鉋をかけ、でき上った平らな版木にじかに下絵を書くか、あるいは別な物に書いてそれを版木に転写し、彫刻師は彫刻刀で白地の部分をすっきり削り落してしまい、これで活字のページと同様に浮彫になり、両者を同時に印刷できることは書籍装画にとって木版は理想的技法の一つでありました。しかし板目木版は摩滅が激しいので、小部数しかできず、人々は次第に板目木版をさけるようになって行きました。今日でも、どこか粗



書店を併設した製版印刷工房を描く最初の木版画。『死の舞踏』(リヨン 1944)より

野な所があるのを暗示しようと思う時「木版画のようだ」と言うわけでありませう。十六世紀になると板目木版は直刻凹版(銅版)の勃興の前に次第に使われなくなり十七世紀から十八世紀には完全に凌駕されてしまいました。ところが十八世紀末頃になると「木口木版」の形で復活します。木口木版はまずフランスで起り、ついでイギリスでこの技法を芸術的な高みにまでもたらしたのは、トマス・ビューウィックで、この技法を用いて何冊かの動物譜の挿絵を作り大きな功績を残しています。木口木版は木繊維に垂直に切り取った板で、板目木版と違って、いくぶん堅目の木(多くはつげ材)を使い、その表面の木口に銅版用の彫刻刀やビュラン等で図柄を刺すように彫り込んでいきます。木口木版のつげ材などの堅い木は一片では大きな版面が出来ないので、どうしても大きな版を必要とする時

は、木を接着させ、なおかつ鉄心を入れ、両はじからボルト止めすることにより、ある程度の版木を作ることが出来ました。他の挿絵法や装飾法にはみられない高水準に達しました。しかし次第に木口木版は実用とされることはなくなり、版木の事故を防ぐことと、二カ所以上の印刷所で同時印刷ができるよう、これを複製してステロ版が使われるようになりました。



木口木版 19世紀初期 フランス

# 組合役員の任期二年を顧みて

## 企業経営は教育

### 認識を新たに

築地地区長

神田半三

地区長を任命されて以来はや二年が過ぎようとしている。顧みればあつと言う間の様な気がする。二年前に地区長を引受けて以来最初から最後まで役員の方々にお世話になりっぱなしの、頼りない地区長を御指導下され御礼申し上げます。地区長を引受けるに当って一九堂大谷さんのたつてのお薦めがあり、尚ご自身も業界のために副支部長をお引受け下さる熱意にほだされ、私ごとき者でも地区の方々の企業にお役に立つならばと、ふみきつたのもつい此の間の様な気がする。

又支部長には永年に亘り京橋平版会の幹事をつとめ、私達に懇切な指導をつづけておられる小宮山印刷社長と奇しき巡り合せであった。かくて他の役員の方々も協力的にまた友好的な支部運営によって、この二年間大過なく過ごせたことは末席に於て、感慨新たなるものがあります。月一回の地区長会は時間の尊さをは

かり会議は適切に進行し誠に好感がもたれた、それと役員の方々の多忙を配慮にいられたことと思う、同時に私は今迄未知の方々と友好的に会話をさせて頂けたことは大きな喜びの二年間であった。

教育部門では本部小泉委員長のもとでお手伝することになった。私自身が不勉強であるに拘らず、その部門に加わって教育委員を指命され種々の問題について認識を新たにされた。これからの企業経営には必要な機関で業界も今後多様化し複雑になってゆくことで益々教育事業の使命が課せられ重要性となってきた様である。先ず営業士、技能士に資格を与えるため各地区に広く受講を勧めている。既に資格を得た方々は企業のためのその成果を挙げていくということ、更に経営者も従業員とともに受講する熱心な地区もあると聞いていたので新しい資格者は年々その数を増してゆく現況で委員は今後も益々活潑に運営方法を講ずるであります。

且つて東印工組に未知の私はこの二年間皆様役員の間に入りてをさせて頂き会議に行事に参加し見聞を広めまた役員の方々の御指導を頂き乍らの二年間お役にもたないままに承る次第です今後とも御指導願うとともに深く御詫び申し上げます。

様の企業の繁栄をお祈り申し上げます。

## 座して死をまつか

### 攻撃行動か

京橋地区長

坂田利正

京橋地区長及び幹事は地区組合員の順番制で決まる。地区長のほかに幹事二名の計三名、任期は三期で六年間つとめることになっている。とにかく永いつとめであるが先輩の方々とはかく、つとめてこられたのである。役員を経験することによって組合員の皆さんと話し合い、語ることによって互に理解し一層の親密感がわいてくる。

情報交換等で、自分の知りたいことも先輩の皆さんから、よくおしえて頂ける誠にもって有難いことである。さて幹事二年、区長二年この間先輩の皆さんのよき指導とおしみな後援の御蔭で何んとか務めてきた、深く御礼を申し上げ一方何にも御役に立てなかつたことは御詫び申し上げます。

私が支部より任命されて所属している本部資料対策委員会について簡単に申し上げます。委員をおせつかったのは二年前昭和五三年四月である、第一次オイルショックによる狂乱物価、これを鎮圧するべく総需要抑制政策がとられその効果があ

らわれ初めると、次は不景氣到来、次は景氣浮揚政策として公共事業中心に財投によるてこ入れ、その効を奏し次第に長期不況トンネルを脱しつつある頃である。当時通産省発表の主要産業の動向の中、紙パルプ工業概要は次の通りで紙パルプ工業の景氣は、期待された昨年の秋需要も振わず、基調としては引き続き低迷状態が推移している。ただ印刷用紙については、住宅、耐久消費材の関連、広告、宣伝用需要を中心として需要回復の徴候が見られる。一方不況の度合が強い板紙では、段ボール厚紙が昨年九月から同年十二月末日まで不況カルテルが認められ、続いて二度に亘る延長により本年六月末まで生産調整を行うことになっている。

以上就任当時の經濟情勢である。五三年度中は物価はおちついておつたのであるが、五四年に早々にイラン政変が起り石油の生産と輸出を、一月から二月にかけて全面的にストップしたため世界はちよつとした石油危機に見舞われることになった。六月にOPECの値上げで油が四〇%値上がりし、これを機に用紙の値上げ問題が当然の如く台頭してきた。その後九月、十二月、本年三月と三ヶ月ごとに値上げをし現在に至っている。この間、当委員会再三に亘り紙販売業者並にメーカーと話し合が行われ値上げ抑制を強力に申入れた。またこの間、九月にはインキ値上げ実施時期を大手企業並にする

様強力に申入れ、当初要請より値上げ率値上時期等は若干の後退があったのではなからうか。本年一月には銀の国際市況が急騰し製版用フィルムは値上げが、二月に對し三月から五〇%、更に四月から五〇%の合計一二五%の値上げが打出され、更に動力料大幅改訂、以上かかることは印刷業界にはかつてない経営危機に見舞れているのである。このような事態に際し委員会はそれぞれのメーカーに對し値上げ理由、その妥当性について説明を求め、我々印刷業の苦しい立場を訴えおたがいの接点について鋭意努力をかためてきたのである。これらの活動は我々印刷側の企業経営の防衛であることはいうまでもない。

我々印刷業界は今迄に精一杯の経営合理化を行い、企業内に増加する経費の吸収を計ってきたのであり、もうこれ以上合理化の余地がないのである、かかる機会に組合員の強力なる一致団結をもって増加する経費を売上げ転嫁の方向に、即ち攻撃型に行動を一刻も早く移らなければ座して死をまつのみである。戦後から現在迄印刷の通し単価程、物価安定に貢献してきたものはない。昭和二十七年頃から印刷通し単価は全く横這いの状況である、これには種々の要因があるのは分かるが、よく考えてみれば自分自身の肉を喰っているのである。やがて自滅することは当然である。

組合員それぞれがこの現況を深く認識

し一人よがりやを止め、協調して印刷業界の将来の為に、この困難を乗り越えて行くのではないか。

### 役員は選挙で

### 生まれる

銀座地区長

森山 哲雄

銀座地区も長島副支部長を始め幹事諸氏と共に力を合わせ、どうか任期の二年間を過ごして来られたことは地区組合員の方々の絶大なるご理解とご協力の賜として心からお礼を申し上げる次第です。当地区は二五社で比較的まとまりも良く、毎月の例会と年一度の三区親睦会の旅行など、アルコールが付きものになっているせいか、和気合々と良い雰囲気の中に話もはづむ。二年ごとの支部役員、地区長選出の時期になると、例会の席に於ても論議が尽きない時がある。支部内の各地区でも選考委員会での選考や色々な方法もとって居られるようですが、ここに当地区の役員選出規則の一部を紹介するのもご参考になるかと思えます。

#### 東印工組京橋支部銀座地区

#### 役員選出規則

支部役員、地区長の選出は毎任期末の地区の例会において、出席組合員の互選

により、その候補者として各三名づつを選出し、さらにその候補者よりそれぞれ互選または抽選により支部役員・地区長を決定する。同一人が重複した場合、確得票数の多い方をのこし、他方は次点者をくりあげる。幹事の選出は決定した支部役員、地区長が協議のうえ指名決定する。さらに必要により幹事補佐若干名の指名ができるものとする。支部役員、または地区長のどちらか一期をつとめたものは、引続き翌期の支部役員、または地区長には推せんしない。もちろん幹事としての被指名権は有する。幹事、幹事補佐については再選をさまたげない。但し、いづれの職務も多くの労苦と時間の負担を強いるため、その性質上、全組合員がなるべく公平な負担を分かちあうよう、充分考慮したうえ、候補者の選出、幹事・幹事補佐の指名を行なうものとする。……当地区では以上のような規則があるので、区長の労苦も多少は軽くなっていると感謝しています。

この「組合員員の二年を顧みて」の稿は、昭和五三年四月に地区長に就任され、本年三月までの二年間、支部行政の円滑な運営のため、地区組合員皆さんの声を支部に反映させ、或るいは支部事業や本部の施策を徹底するため、大変にご苦勞を願ひ支部執行部を支えて頂きました、支部内九地区地区長なりに執筆をお願いしました。

# 生産性の「拡大」に

# 「コニースーパーテン」がお応えします。

毎時1万枚の超高速菊全判オフセット印刷機 2・4・5色機



## 小森印刷機械株式会社

本社 東京都墨田区吾妻橋3丁目11番1号 〒130 東京 (624)7161番(大代表)

# 支部の動き

ついでに支部の参加協力について、意見を拝聴し、今後の行動に備える。  
2月19日 新川地区、永井印刷株式会社、

2月7日 第一回次期役員選考委員会開催、於京橋支部会議室。選考委員長に中村顧問を選出し、次期候補者として全員一致で、石曾根副支部長を推せんすることを決定し、お願いに

2月13日 定例部長会、地区長会開催。於支部会議室。構改調査票の早期回収を依頼。大谷副支部長胃かいようの為、入院。手術お見舞金を拠出し若林副支部長が持参お見舞した。

2月15日 顧問、相談役、参与の会開催於支部会議室、中央区工業展開催に

## 中央区工業事主・工業優良従業員表彰終る

二月二十六日午前一〇時三〇分より中央会館千歳の間で、中央区及び中央区工団連主催の昭和五十四年度工業事業主、工業優良従業員の表彰が行われた。

はじめに横関中央区長は、お祝いの言葉で「エネルギー不足と諸資材の値上りなど、厳しいこの時期を乗り越えて、さらに四〇年、五〇年の実績を積み重ねて行かれるよう」と結ばれた。

次いで白橋工団連会長の挨拶のあと、表彰状の贈呈が工業事業主、従業員にそれぞれおこなわれた。そのあと篠原中央

2月29日 第三回次期役員選考委員会開催。次期支部長も内定し、各地区の次期役員の名簿も大体決まる。

## 支部組合員の異動

脱退組合員 八丁堀地区、鶴丸の内印刷所、社長 前島きみ。  
八丁堀地区、鶴サンユーセイコー、社長 小川源太郎  
湊地区組合員、鶴国松工芸、社長 井上国松

区議会副議長、池宮工団連副会長などの来賓のお祝いの辞が述べられた。

受賞者を代表して当京橋支部月島地区室田印刷株式会社・室田利一氏は、今後も



工業振興のため頑張っ  
て行きたい  
と決意の謝  
辞で受賞式  
を終った。  
京橋支部か  
ら三名の事  
業主、一四  
名の従業員  
が受賞した

## 「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を計るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

### 協賛広告掲載料

一段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金六万円也
一段	左右 一四五耗	一ケ年 (十二回)	金十万円也
半段	天地 五〇耗	半年 (六回)	金三万円也
半段	左右 七〇耗	一ケ年 (十二回)	金五万円也

図案・版下は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

## 編集後記

「京橋の印刷」に変わらぬご愛顧をお願いいたします。

▼暑さ寒さも彼岸までといわれる春分の日とともに、間もなく春が訪れる、わが家の狭い庭の藤の蕾が動きだし、鶯の初音がきかれた今日この頃、次期執行部候補の方々の人選が各地区から報告されている、支部通常総会を控えて、その準備に追われている。しかし本誌は支部長を囲んで八〇年代への新しい発想と題する京青会との座談会をトップに、組合役員任期二年を顧みてと各地区長さんに締くくって頂き、五三・四年度執行部編集委員会も、四月号は新旧の事務引継号として総会特集を発行することになる。組合員皆さん長い間ご協力ありがとうございます。新編集委員会の発足後も「京青会への期待は大きい。」

(H・I)